

★家づくり徒然草

花と省エネルギー

この4月、甲州の山道を歩きました。春の花が一斉に咲き揃い、春霞のもとに桃の花が敷きつめられて、それは見事なものでした。

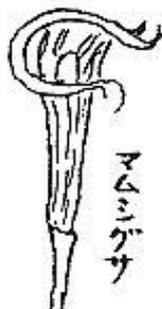
旅の行く先々で、初めて見る草花に逢うのは、本当に心ときめく楽しさがあります。

今回は大量発見で、群生するカタクリやヒメオドリコソウ、シュンラン、ムラサキサギゴケ、ユーモラスなヤブレガサ、

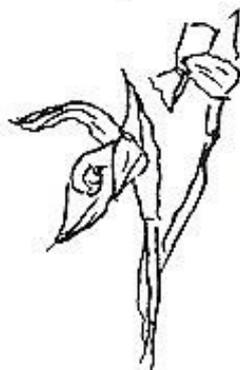
噛み付きそうなマムシグサ、シャガを見つけたのです。

自然の造形美は、目を楽しませてくれますし、時々その意外性にも驚かされます。

野草は、少ない生存の条件の中でたくましく成長しています。カタクリは林の中のやや湿った所に自生しますが少ない日光の下で光合成をし地下に球根を作り、翌年に備え、エネルギー源である澱粉を蓄えています。このしかけは多数の植物の基本型になっていますが、考えてみると、これはまるでアクティブソーラーハウスを見ているようではありませんか。



マムシグサ



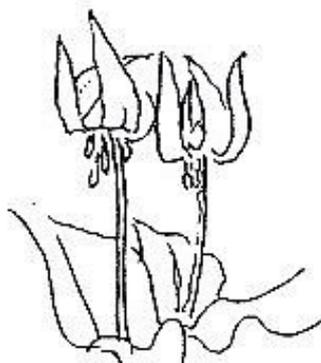
シュンラン



ヒメオドリコソウの花

アクティブソーラーハウスは屋根面や壁面の集熱器により、室内や地下のエレメントなどに太陽熱を蓄え、タイムラグにより室内の暖房を行ないます。

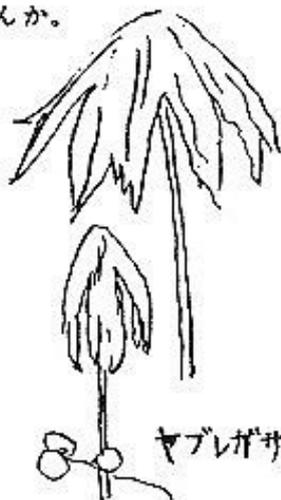
太陽エネルギーの利用や省エネルギーの思想により、これらのシステムが開発されてきたわけですが、今日の円高による石油価格のダウンで、このシステムや省エネルギーの考え方には勢いがありません。喉元過ぎれば一とやらです。



カタクリの花

省エネルギーということはエネルギーを節約することも目的の一つですが、今、私達が持っているエネルギーを無駄使いするのではなく、それをよく理解して、有効に使っていかねばならないということだし、更に身の回りにある小

きなエネルギー(太陽、風、水、etc.)も、もっと活用する必要が、今、重要になってきています。



ヤブレガサ

この原稿は、1987年ごろ家づくりの会の会誌に掲載したのですが、あらためて読み直してみると春の野草が取り上げられていたのを見て、エッと思いました。先日、ブログにも書きましたが、カタクリの花が練馬区の公園に咲いているとこのことを知り見学をしました。そこで、これらの野草を目にしました。この原稿にこんな野草の姿を描いていたとは。



カタクリは、開花まで約8年かかるとのこと。



マムシソウに似ているウラシマソウ。

↑ちょっと気味の悪い姿をしています。



シュンラン＝木立の根元に周辺と同色でひっそりとさいています。



ヒメオドリコソウ＝春一番から日当たりのよいところに花を咲かせています。



ヤブレガサ＝お化け傘からのネーミングでしょうか。

いつ見ても自然の造形には驚かせれます。